

*** 令和3年の国・県の主要補助金早見表（2021年3月25日時点） ***

令和3年3月25日作成：和歌山県よろず支援拠点 矢笠

補助金名	経産省					和歌山県						
	事業再構築補助金	ものづくり補助金	持続化補助金	IT導入補助金	事業承継補助金	2020年度の省力化設備投資補助金	地場産業ブランド力強化支援補助金	元気ファンド・農商工ファンド	デジタル化補助金（仮称）			
予算額（注1）	1兆1485億円	3600億円/3年+2300億円（令和3年3次補正：低感染リスク型）			3次補正：56億円 当初：27億円 }の一部	1億円	不明	約6000万円	3億円			
事務局	パソナ	中央会	商工会・商工会議所	サービスデザイン推進協議会	サービスデザイン推進協議会	産業技術政策課	企業振興課	わかやま産業振興財団	企業振興課・産業技術政策課			
単年度 or 基金	基金	基金（2022年度まで）			単年度	全て単年度予算かと思えます。						
特設サイト	3月末開設予定	https://portal.monodukuri-hojo.jp/	https://jizokukahojokin.info/	https://www.it-hojo.jp/applicant/	https://www.shokei-hojo.jp/	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/063100/shouryokuka.html	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/jibaburando.html	https://yarukiouendan.or.jp/business/genki_fund/?fou=21	公募が始まりましたら、県HPの担当部署ページをご覧ください。			
補助金タイプ	設備投資	設備投資	販路開拓・販売促進	ITソフト導入（ハードは対象外）	設備投資・販路開拓	設備投資	ブランディング・マーケティング	地域資源活用（元気ファンド） 農商工連携（農商工ファンド）	販促ITツール、システム投資			
キャッチフレーズ	ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための企業の思い切った事業再構築を支援	経営革新に設備投資するチャンス	販路開拓を目指す皆様へブランド力を高めたい商品を宣伝したいHPを開発した	ITで業務効率化・データ活用をしたい働き方改革・コロナ対策を進めたい全社的なDXを進めたい	M&A等を通じた事業承継を契機に、経営革新等に挑戦する中小企業に対し、設備投資・販路開拓等に必要経費を支援します。	県内中小企業者等による事業の省力化の取組の促進を図るため、省力化を実施するための設備導入を支援。	県内地場産地の企業が、新たな商品・サービスを開発し「ブランドづくり」を目指す取組を支援	「地域資源（農林水産物、産地の技術、観光資源）」を活用した新商品や新サービスの開発、販路開拓などを支援	県内のものづくり事業者のデジタル化を推進し、社会環境に応じたビジネスモデルを構築できるよう支援			
補助額	中小企業枠 100万円～6000万円	一般型・上限1000万円 グローバル型：上限3000万円	通常枠：上限50万円 低感染リスク：上限100万円	通常枠：上限450万円 低感染リスク：上限450万円	上のPRチラシ参照	上限：2000万円	上限：1000万円/3年間	上限：600万円	3タイプの補助金あり。詳しくは下URL。			
補助率	2/3（特別枠3/4）	小規模事業者 2/3 その他 1/2	通常枠：2/3 低感染リスク：3/4	通常枠：2/3 低感染リスク：3/4		補助率：1/5	2/3	2/3	http://yorozu.yarukiouendan.or.jp/yorozu_news/268-2020/			
補助対象費用	建物・内装費も設備投資に含まれる。 人件費以外はほど対象。	機械装置、外注費など 建物・内装費は対象外	販路開拓・お客さんを増やすための費用であれば、ほとんど対象。（汎用品は対象外）	ITソフト・アプリが対象。 ハードは対象外。（例外としてテレワーク導入時にはハードも対象）	設備投資・販路開拓・人件費を含めほとんどの経費が対象	機械設備・工具・備品など	ブランディング・マーケティングに係る費用（謝金、旅費、コンサルタント料、市場調査費など）	新商品や新サービスの研究・開発や試作、それに付随する展示会出展等の事業	販促ITツール、システム投資			
公募スケジュール	1回目は3月末公募開始 1回目以降、2022年3月までに4回公募を実施予定。	通年公募（2022年度まで） 3か月毎に年に4回締切を設ける。	通年公募（2022年度まで） 4か月毎に年に3回締切を設ける。	通年公募（2022年度まで） 4月に2021年度の公募スケジュールを公表。2020年度は10回公募を実施。	2021年4月に公募開始。 2次公募があるか不明。	当補助金の後継として、 2021年度は新しいスキームの設備投資補助金が5月以降公募になる予定。	2020年は4月に公募開始。 2021年も同じ4月か？	元気ファンド・農商工ファンド共に毎年1回12月頃の公募開始。	2021年4月に公募開始。			
事業計画書作成の難易度、申請作業負担（注2）	5～6 （予測）	5	3	2 （IT導入支援事業者（ITベンダー）との共同申請）	4	2	3～4	3～4	不明			
採択率	不明	30～60%（過去実績）	30～90%（過去実績）	不明	60%～70%	不明	不明	不明	不明			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> * 大きな設備投資の補助金は、事業再構築補助金とものづくり補助金の2つ。 * 事業再構築補助金の場合、事業再構築の指針に該当することが最低条件。 * 該当しないと判断すれば、「ものづくり補助金」へ申請の可能性を検討。（ものづくり補助金の申請要件を満たす必要あり） * 2021年度の県の設備投資補助金の詳細は不明であるが、公募要領が出た時、申請要件・補助スキーム等をチェックし、活用できそうか検討する。 * 事業承継補助金の申請要件を満たせば、申請を検討可。（事業承継補助金は、建物、内装費、建物解体費等も対象） * 投資金額が少なければ、持続化補助金（低感染リスク）の可能性も検討。 					2021年度の新しい設備投資補助金の詳細は不明。 5月以降、公募開始時に公募要領をチェック！				新商品・新サービスのブランディング・マーケティングで お金が掛かるのであれば、この補助金。 ブランディング・デザイナー等の専門家を活用することが申請要件。	新商品の試作・開発にお金がかかるのであれば、この補助金！ （地域資源に該当する必要がある）	2021年度に始まる新しいデジタル化支援の補助金。 製造業等のものづくり企業のみが対象。 予算額3億円は県の補助金としてはかなり大きな補助金。

（注1）：県の補助金の予算額は、当然国の補助金よりも大分少ない。しかし、県の補助金で予算額1億円であれば、国レベルでは100億円、3億円であれば、300億円の予算額に相当する。

（注2）：「事業計画書作成の難易度、申請作業負担」の評価は、あくまでの当資料作成者の個人的な見解。基準を「持続化補助金＝3」とし、各補助金の難易度を個人評価。

資料作成者は、表にある全ての補助金に関し、事業計画書作成策定の支援を行った経験を相当数持っている。（県のデジタル化補助金を除く）